

いっぽだより



2019年度 No. 6

はじめのいっぽ弥生

2019年9月27日

ごあいさつ

「天高く、馬肥ゆる秋」・・・のことわざもありますが秋の空は高く澄みきって美しく、その時々 うろこ雲や、羊、わたあめなどに見える雲を眺め、色々な事を思い出しています。

平成24年3月吉日、
はじめのいっぽ弥生事業所を借家で開所しました。
当時、お金も場所も何もない!!
あったのは、”夢と熱意”・・・溢れるように沸き上がった当時を思い出します。そして、現在地に引っ越し8年の月日が流れ、現在では待機児童に対応しきれない状況にあります。(人数制限により)

そこで2月頃より理事会、総会などを通じ新たな事業所設立に向けて検討してきました。その後、関係機関との話し合いを積み重ね約半年の月日が過ぎ、9月22日(日)地鎮祭が執り行われました。
完成は、来年4月末日の予定です。

今後工事の車など出入りも多くなりますが、ご理解、ご協力よろしくお願い致します。

代表 石橋 わか子



今後の予定

日 時	行 事
10月 8日(火)	10:00 未就学児オステオパシー 16:00 あちこち紙芝居
10月11日(金)	未就学児 リトミック
10月21日(火)	定例会議
10月24日(木)	親子でいっぽ リトミック

※ その他に、秋のピクニック随時行います。

「収穫祭天気に恵まれました。」

春のバーベキューパーティでは、

コンロを囲み、参加者全員和気あいあい交流できる場と・・・準備万端整え、夏のいっぱ祭りでは、

みんなの知恵を出し合い、アーチ作りや、おみこし作りに、子どもたちの絵・・・ところが当日の雨にガッカリした事を思い出します。

収穫祭は、晴れますように・・・と願い、春からの積み重ね 種を植え育て収穫した芋、枝豆、ミニトマト、キュウリ、にササギ、数えきれない程の野菜をお腹いっぱい食べ、健康に感謝しながら、当日を迎えました。

普段通り、かまどに薪ストーブでカレーライスとご飯を煮炊き、唸るほどのトーキビや枝豆を食べ、実りの秋を満喫しました。

食を通じ、親も子も参加者同士、和気あいあい交流を深め、佐々木淳の介さんのお母さんより「先生、いっぱに通わせて本当に良かった!!中学生になると心配事も多かったけれど、淳の介の様子を見て安心したよ。もう大丈夫だわ!!」と、確信した言葉に私たちも勇気をもらいました。

何よりも、花を添えてくれたのは、幼児さん親子。ただそこに居てくれるだけで空気が和み、小中学生の心にも和やかな空気と交流が芽生え、なんとも素敵な時間となりました。

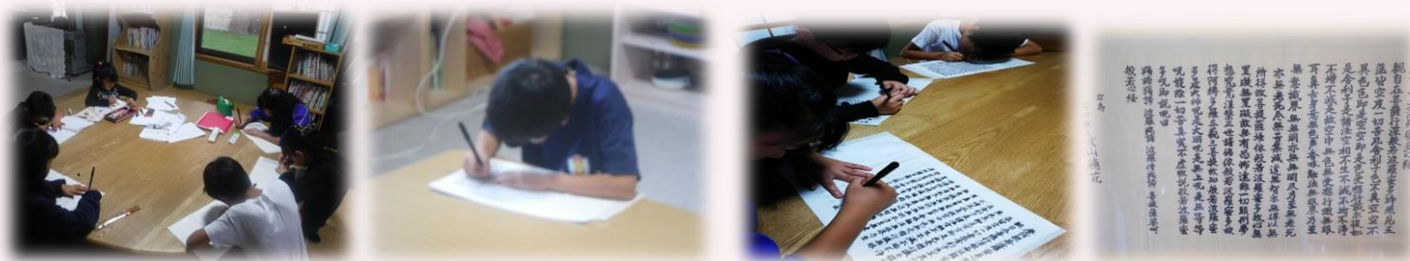


写経の取り組み

約20年近く前、和歌山県の高野山宿坊にて、初めての写経を体験した事があります。その時の記憶として「無の世界」に没頭し約1時間、何も考えず、完成した時の心地よさを、今も鮮明に思い出します。

ある日、「写経、やってみる？」と子ども達に聞くと、即答で「やります!!」と返事。東部屋の円卓を囲み、写経に取り組む子ども達は「無の世界」で一途に真剣にとりくみ、約1時間、完成した書を片手に「今の気持ちはどうですか？」と質問すると「達成感でいっぱいです!!」「嬉しいです!!」の言葉・・・

“満ち溢れた達成感”“充実した誇らしげな顔”はとても素敵でした。



“国見山登山”で秋を満喫

好天に恵まれた9月21日（土）音更町と芽室町の境にある国見山登山に挑戦!! 小学1年生から、中学2年生まで“のんびり散策チーム”“パワフル滑走チーム”と体力、体調に合わせ無理なく秋の自然に触れました。

数年前の台風による倒木が残る中、どんな木が倒れやすく、どんな木が丈夫なのか?、倒木の片隅に、どんぐりの実から芽が出ているのを発見したりと、ただ登るだけではなく、自然の生きる力を目と耳と肌で感じながら、全員が登り切り達成感をみんなで分かち合いました。「また、高い山に登ってみたい!!」と新たな目標を持ちワクワクしているお友達でした。

帰りには、旬の味覚、真っ赤に色づいたリンゴを自分の手でもぎ、爽やかな甘酸っぱさに、もぎたての味を楽しみました。



夢にまで出会う可愛い子ども達



「ワァ～秋だ～!!」



「もぎたてリンゴ
美味しいかな?」



♪こ～とり、ことり♪
ふれ合い遊び



少しずつ仲間関係が 芽生えてきています。



数日前の夢の中で・・・

♪先生おはようー、みなさんおはよー♪の
うたで始まり、「〇〇ちゃん!!」「ハーイ!!」と
手をあげ返事する子どもたち。

未就学児全員の名前をず～と呼び続け、再び眠
り夢の世界へ…

目覚めた時、夢の中でも子供たちに出会い
ホッコリするとっても幸せな気持ちでいっぱい
でした。

少し前まで“言葉が出ない!!”と悩んでいた(?)
お子さんも今では、勢いよく玄関の戸を開け「オハ
ヨー!!」と挨拶もでき「ぼくの～」と意思表示し、
時には、友だち同士おもちゃの取り合いも程よく出
来、2才から3才数か月の子どもたちの関わりを見
ていると自然にホホがゆるみ、目じりが下がりっぱ
なしです。

あまりの可愛さに、ずーっと一緒に生活してい
たい!! 孫、ひい孫と3、4世代が一緒に生活で
きればどれ程楽しいか・・・と、かなわぬ夢を見て
います。



「おてつだい
だ～いすき」



「ワァ～たかーい!!」



♪もしもしカメよ～♪
カメさんよ～♪



リズムうんどう



これって、井戸端会議ですよ